

学校評議員会議事録（第1回）

日 時	令和 4年 6月14日（火） 10時00分 ～ 12時00分	
会 場	北海道白糠養護学校 会議室	
出 席 者	学校評議員 3名	学校側 3名
出席者氏名	吉田 昌司 氏（白糠町保健福祉部介護福祉課長） 坂上 綾子 氏（北海道白糠養護学校PTA会長） 二階 美幸 氏（白糠町教育委員会指導室長）	校 長 仲條 正輝 教 頭 大山 伸吾 事務長 後藤 裕志

1 学校長挨拶

今年度の生徒数は7名と小規模な学校であるが、教育活動の充実を図りたい。

先日、高等部の見学旅行を実施した。少人数であるのでバス借上などせず、公共交通機関の利用ではあったが、生徒たちの日頃の行いが良いおかげで天候にも恵まれ無事に実施することができた。

本日は一年の始めにあたり、本校の経営方針と教育活動について説明差し上げる次第であり、評議員の方々の忌憚のないご意見を伺いたい。

2 委嘱状交付



3 説明事項

(1) 学校経営方針について ※校長より学校経営方針についての説明

- 学校経営の柱について
- 今年度の重点目標について、継続の取り組みと新たな取り組み
- 北海道教育実践表彰について
- ボッチャ選抜甲子園大会への出場について
- OK I ワークウェル主催の遠隔社会見学への参加について

(2) 今年度の教育活動について ※教頭より本校教育活動についての説明

- 主な行事について
- 進路支援について
- 対外的な活動について
- センター的機能の充実について
- PTA活動について

(3) 今年度の進捗状況 ※教頭より今年度の進捗状況についての説明

- 避難訓練
- 高等部見学旅行
- オンラインを活用した事業実践

4 授業見学



5 評議

(1) 教育活動について

(質問1) 先ほどボッチャの取組みを見学したが、生徒たちはどのようなことが楽しいと感じて取り組んでいるのか？

→競技すること自体を楽しんでいる生徒もいれば、勝ち負けの結果にこだわって取り組んでいる生徒もいる。

(質問2) 授業見学の中で、パソコン画面を提示しながら授業進行していたのが見受けられたが、パソコンを活用した授業が最近が多いように感じる。準備するのに先生方の負担はないだろうか？

→授業の中にはアナログな部分も残っているが、生徒がこのような状況に慣れて欲しいという意図もあってパソコン活用を積極的に進めているところである。教員側も最初のうちは準備に時間がかかっていたが、今ではその対応にも慣れてきている。

(質問3) 高等部の見学旅行について、今年度は2年生と3年生が一緒に実施したと説明があったが、これは生徒人数の関係なのか？

→お見込みのとおり。参加生徒の保護者の理解を得ながら計画を進めたところ。

(質問4) 見学旅行について、旅行先は自由に決められるのだろうか？

→予算の範囲内という制約があり、その地域でのコロナウィルスの流行状況なども考慮しなければならない。本校高等部の見学旅行の旅行先はコロナウィルスの影響を受け、おとしは千歳市、去年は帯広市であった。

(意見1) ボッチャなど楽しみながら競うことによって、より経験を増やして欲しい。

(意見2) 生徒が一人しかいない学年もあるので、一人きりでの見学旅行は寂しいと感じる。

(意見3) 生徒人数の関係で、見学旅行が2年に1回ずつの学校もあった。

(感想1) 重点目標にもあったオンラインの活用については、ここ2～3年で一気に加速した感じがするが、特に障がいを持った子にとっては強みにできる部分があると感じている。教員側も活用ができればなおさらよいと感じた。

(感想2) 新たな重点目標であるメンタルヘルスについては、子供の自己肯定感を高めることは重要だと再確認することができた。

(2) 避難訓練について

(質問1) 学校から避難所まで時間はどのくらいかかるのか？

→今回の訓練では避難完了まで約11分かかった。地震発生から津波到来までおよそ20分と想定されているので、今回は時間的には間に合ったと考える。

(質問2) 避難時に自動車が使用できない場合は想定しているのか？

→自動車が使用できない場合の有効な決め手がない。避難所までの代替ルートは山道で冬場の避難が困難なことも予想され、徒歩での避難も生徒を連れて行くのに体力的な限界もあり非現実的だと考えられる。そのような状況を見据えた研修を夏休みを利用して実施する予定で、さらに道教委主催の1日防災学校（自衛隊の派遣が予定されており、自衛隊のトラックでの避難想定をしている）も活用して、今後の検討材料としたい。

6 次回予定について ※教頭より次回予定についての説明
第2回評議員会議は12月の予定である。

7 学校長挨拶

長時間にわたる協議で貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。

今年度、学校要覧の表紙を従来と大きく変更した。予算の限られる中で工夫をして、インパクトのあるものをと考えた結果である。

人数が少ないからこそできるということを、本校では追求していきたい。

